

市民と野党の共闘発展と党躍進で、希望ある新しい政治を！



(写真左から) 山添拓参院議員、池内さおり前衆院議員、田村智子党副委員長・参院議員、小池晃党書記局長・参院議員、吉良よし子参院議員、笠井亮衆院議員、原純子都常任委員・参院比例候補、宮本徹衆院議員＝7月22日・新宿駅西口＝

あなたの 日本共産党への入党を 心からよびかけます

日本共産党の名前には、党創立以来の歴史と 未来社会の理想がこめられています

日本共産党という名前は、「みんなが平等で自由に生きることができる共同の社会をめざす」という未来社会への展望を示しています。語源は、「コミュニティ」と同じです。

戦前、日本共産党は政党としてただ一つ、戦争反対を貫き、平和と民主主義をかけ、国民民主権の日本を築くために、命がけでたたかいました。戦後も、中国の毛沢東派やソ連といった「社会主義」を看板にした国が自分たちの言いなりになるように圧力をかけてきましたが、きっぱり拒否し、国民のためにがんばり続けてきました。

日本共産党の名前には、こうした不屈の歴史の重みとともに、未来社会の理想がこめられています。

希望ある未来を拓くためにご一緒にあゆみましょう

日本共産党東京都委員会

2019年8月発行／日本共産党東京都委員会【部内資料】
〒170-0004 豊島区北犬塚1-33-26 ☎03-5972-1621(代表)

日本共産党員としての活動は

18歳以上の日本国民で、日本共産党の綱領と規約を認める人は、党員になれます。

日本共産党は、日本の社会を「真に平等で自由な人間関係からなる共同社会」に発展させることをめざしています。

日本共産党の綱領は、日本と世界の歴史と現実をふまえ、この社会がどんな発展段階をへて、また、どんな道すじにそって前進するのか、日本共産党は、未来社会への道をどのように切りひらいてゆくのか、それを明らかにしたものです。

党の規約は、日本共産党の活動をすすめてゆくための党の自主的ルールです。一般の団体でいえば「会則」にあたるものです。

私たちは、社会の進歩をめざすものとして、日常生活のうえでも、まわりの人たちから人間的にも信頼される人間でありたいと心がけています。

一人ひとりの党員は、それぞれの条件と得手を最大限に生かし、協力しあって活動します。

入党のお申し込みは

入党申込書に必要な事項を記入し、お知り合いの党員2人の推薦をうけ、入党費300円をそえて申し込みます。

四つの大切

「四つの大切」は、日本共産党員みんながとりくむ活動です

●「しんぶん赤旗」(日刊紙)を読みます

日本の巨大マスメディアは、「権力の監視」「真実を伝える」という「社会の公器」としての本来の役割を果たしていません。そのなかで、「しんぶん赤旗」は、真実を伝え、希望を運び、国民のたたかいのよりどころとして、かけがえのない役割を果たしています。

とくに、「しんぶん赤旗」日刊紙を読むことは、党員が希望をもって暮らし、確信と展望をもって活動するみなものです。

●支部会議に参加します

支部会議は、まわりの人びとの利益のためにどんな活動をしてゆくのか、どんな党をつくるのか、目標や方針をみんなで相談し、決める場です。同時に、支部会議は、党員同士のあたたかい人間的信頼関係を築き、励ましあい、成長してゆく大切な場です。

●学習につとめ活動に参加します

一人ひとりの党員が、どんな情勢のもとでも、未来への科学的確信と展望をもって、活動し、成長していくうえで、党綱領や科学的社会主義の学習はかせません。また、党大会決定や中央委員会総会決定の学習にも最優先でとりくみます。

●党費(実収入の1パーセント)をきちんと納めます

日本共産党は、政党助成金や企業・団体献金を受け取っていません。党の財政は、一人ひとりの党員が納める党費や「しんぶん赤旗」の購読料などで支えられています。入党した月から党費を納めることは、日本共産党を財政的に支える誇りある活動です。

市民と野党の共闘前進と日本共産党躍進で希望ある新しい政治を

——あなたの日本共産党への入党を心からよびかけます——

7月21日に投開票がおこなわれた参議院選挙でのご支援、ご協力に心から感謝を申しあげます。東京選挙区で吉良よし子候補が第3位で再選をはたし、比例代表選挙では小池晃書記局長の再選など4議席を確保しました。

私たちは、選挙戦で訴えた公約・政策の実現をめざし、国会内外で市民と野党の共闘をさらに発展させるとともに、希望と安心の政治、尊厳をもって生きられる社会の実現にむけ、草の根から全力をつくす決意です。日本共産党を応援していただいているあなたに、ぜひ日本共産党に入党していただき、ご一緒に、安倍政治を終わらせ、希望ある新しい日本をつくるために力を合わせることを心からよびかけます。



——改憲勢力を3分の2割れに追い込んだ市民と野党の共闘の力をさらに大きく

今回の参議院選挙の全体の結果で重要なことは、安倍政権が改憲を最大争点に押し出したもとで、自民・公明・維新などの改憲勢力が、改憲発議に必要な3分の2を割り込んだことです。市民と野党が力を合わせた大きな成果です。市民と野党の共闘が、「安倍政権による改憲」反対、安保法制廃止をはじめ13の共通政策をかげて32の1人区全てで野党統一候補を擁立し、10選挙区で大激戦を勝ち抜いたことが決定的な力になりました。

安倍首相は「少なくとも議論すべきだ」という国民の審判は下った」などと述べ、野党分断の意図も公言するなど改憲発議をこり押しする異常な執念を示しています。しかし、「安倍政権下での改憲」に反対は、世論の多数を占めており、安倍政権が「民意を得た」などといえないことは明らかです。

安倍首相の9条改憲のねらいは「憲法の制約」をはずして米軍のために血を流す自衛隊をつくることにあります。中東のホルムズ海峡をめぐる、トランプ米政権が「有志連合」の結成に動き出したことで、「血の同盟」の危険が現実の問題として浮上しています。「3000万署名」を一気に達成するとともに、さらに市民と野党の結束を強め、改憲発議を許さない国民的世論をつくることが求められています。

9条改憲を許さないたたかいが正念場を迎えるなか、戦前戦後、命がけで反戦平和を貫き、憲法9条を将来の日本の進路として生かす立場をつらぬく日本共産党が大きな役割を果たさなければいけないと決意しています。

——明日への希望を実現する道筋をしめす日本共産党綱領

消費税増税中止の一点での共同をさらに発展させるうえでも、「マクロ経済スライド」を廃止し「減らない年金」をつくるうえでも、誰もが尊厳をもって生きられる社会をつくるうえでも、いまこそ、日本共産党ががんばらなければなりません。

日本共産党は、安倍政権の暴走政治と正面から対決し、安倍政権のどこが問題か、政治と社会を変える現実的な道はどこにあるのか、どの問題でも国民の立場にたった解決策を示しています。この大もとは、「財界中心」「アメリカいいなり」の2つのゆがみにメスを入れた改革をすすめる党綱領の立場があります。

市民と野党の「本気の共闘」のためにがんばる根本にも、社会発展のあらゆる段階で、国民の多数の意思にもとづいて一步一步変革する方針をかげ、その時々で目標で一致する人たちと力を合わせて社会を変えていくという綱領の大方針があります。

資本主義社会がぶつかっている「利潤第一主義」という矛盾と苦難をのりこえて、「人間の自由な全面的な発展」が可能になる未来社会（社会主義・共産主義）にすすむことを展望しています。

——来る総選挙で勝利し、野党連合政権の展望をひらくために

日本共産党が2015年の安保法制Ⅱ戦争法強行直後に「国民連合政府」を提唱してから4年。市民と野党の共闘は、国政を変える中心問題で共通の旗印を掲げるところまで大きく発展してきました。

来る総選挙は、いよいよ安倍政権に退場の審判をくだし、野党連合政権への道をひらく選挙です。草の根で国民とむすびつき、働きかける日本共産党がさらに強く大きくなることこそ、日本の政治を前にすすめる決定的な力になるのではないでしょうか。

歴史的激動の時代、「政治を変えたい」「平和の憲法を子どもたちに手渡したい」というあなたの思いと社会進歩を重ねて、あなたが日本共産党員として人生を歩まれることを、心から願っています。